

		長崎県水産部水産経営課				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生産・流通機能の強化と広域浜プランの推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>製氷・冷凍施設を活魚センター横に集約し、生産・流通機能の強化を図る</li> </ul> </li> <li>■施設規模の適正化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>市域において、氷の使用規模に応じた機能再編を行うなど、過剰となる施設規模を見直し、将来を見据えた規模で再整備することで、施設規模の適正化を図る</li> </ul> </li> <li>■氷と餌の供給体制改善による漁業活動の維持・拡大                     <ul style="list-style-type: none"> <li>24時間供給できる体制を整備することで、漁業者の出漁機会の確保及び漁業経費の削減を図る</li> </ul> </li> </ul>					
目標	地区内における漁業者の平均所得の増	1				
事業実施主体	野母崎三和漁業協同組合					
実施地区	長崎地区					
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度				
	平成29年度	令和3年度				
助成金額	110,950千円					
事業計画の内容	製氷施設整備（製氷3.5トン、貯氷10トン） 冷凍施設整備（140トン：80トン+60トン） 既存施設解体					
評価	取組の目標（KPI）	地区内における漁業者の平均所得の増				
		基準年（A）	平成28年	●●●●千円		
		現状値（B）	令和3年実績	●●●●千円	増加率 [=B/A]	132%
		目標値（C）	令和3年	●●●●千円	増加率 [=C/A]	114%
	成果目標	地区内における漁業者の平均所得の増				
		現状値（D）	●●●●千円（令和3年度末時点） 対目標値 [=D/E]		116%	
		目標値（E）	●●●●千円（令和3年度末）			
	（1）現状値の説明	成果目標：算出可能な漁業種類ごとの平均所得額から対象地区内の総所得額を算出し、施設整備において削減できる経費を差引き、また、単価向上に伴う水揚げ金額の増加分を加算し、施設整備後の総所得額を算出した。 その施設整備後の総所得額から1人あたりの所得額を算出し、成果目標の金額とした。 ※ただし、まき網漁業については、所得額が大きいため今回の成果目標の算出からは除外した。  基準（平成28年） 総所得額：●●●●●千円（まき網除く） 平均所得額：●●●●千円（経営体数125※まき網1を除く124で除した）  目標値（令和3年度末時点） 削減額（便益額）：●●●●千円 総所得額：●●●●●千円（まき網除く） 平均所得額：●●●●千円（経営体数125※まき網1を除く124で除した）  現状値（令和3年度末） 総所得額：●●●●●千円（まき網除く） 平均所得額：●●●●千円（経営体数93※まき網1を除く92で除した）				
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者の出漁機会の増加及び漁業経費削減により所得増加が図られた。</li> <li>・製氷・冷凍施設の効率的な運用により漁協運営の安定が図られた。</li> </ul>				
	（3）所見	氷や餌を24時間供給できる体制が整ったことなどにより、出漁機会が増加したほか、操業の効率化が図られたため、漁業者の平均所得の向上につながっている。				
（4）評価機関への意見等						
今後の改善方向等に関する分析						